

令和6年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： あびこエコ・プロジェクトの推進

基本施策名： 6-1 地球環境の保全

担当部課名： 環境経済部 手賀沼課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳（千円）					過年度繰越分 事業費 (千円)
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	
予算額	2,125	0	0	0	0	2,125	0
補正後予算額	1,692	-	-	-	-	1,692	-
決算額	1,690	0	0	0	0	1,690	0
次年度へ繰越	0	0	0	0	0	0	0

2. 当該年度執行計画（目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載）

「環境保全のための率先行動計画」と、市の事務事業が環境に与える負荷を減少させ、地球温暖化対策を推進するための「地球温暖化対策実行計画」、「市民・事業者への環境配慮指針」の普及の3つの役割を併せた計画である「あびこエコ・プロジェクト」を推進します。 また、令和5年度の温室効果ガス排出量等についての報告書を作成し、11月頃に公表します。
--

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和7年4月1日

あびこエコ・プロジェクト5の改定を受け、エコプロジェクト推進本部会議で年度の取り組み内容を定め、実施しました。具体的な取り組み内容としては、電気使用量やグリーン購入実施率、ノーカーデー実施率調査を実施し、庁内の取り組み状況の把握に努めた他、年度重点取組項目を課ごとに設定することで当事者意識を醸成しました。加えて、職員研修や緑のカーテンコンテストを実施するなどして、環境負荷低減の啓発に努めました。 また、並行して前年度の温室効果ガス排出量等調査結果を報告書にまとめ、推進本部会議で報告をし、結果を公表しました。

令和6年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名：資源化施設の整備

基本施策名：6-1 地球環境の保全

担当部課名：環境経済部 手賀沼課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)					過年度繰越分 事業費 (千円)
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	
予算額	24,827	8,275	0	5,900	10,652	0	0
補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-
決算額	19,360	6,452	0	5,200	7,708	0	0
次年度へ繰越	0	0	0	0	0	0	0

2. 当該年度執行計画（目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載）

令和12年度からの本格稼働を目指し、環境省の循環型社会形成推進交付金を活用し、新しい資源化施設（マテリアルリサイクル推進施設）の整備を実施します。令和6年度は、令和7年3月までを目途に平成30年度に策定したリサイクルセンター整備詳細計画の見直しを実施し、併せて新資源化施設の整備運営方式の検討を行います。また、建設予定地である旧クリーンセンター敷地内で土壌汚染が確認されたことから、5月頃から土壌汚染対策工事にに向けた実施設計を行います。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和7年4月1日

当初計画通り令和12年度から本格稼働を目指し、新しい資源化施設の整備事業を進めています。令和6年度は、平成30年度に策定したリサイクルセンター整備詳細計画の見直し、整備運営方式の検討、旧クリーンセンター解体に向けての土壌汚染対策の設計業務を実施しました。詳細計画見直しについては、各プラントメーカーに令和6年8月よりアンケートを実施し、その結果を基に取り纏めを行いました。整備運営方式の検討にあたっては、令和6年度中に計3回の検討委員会を開催し、整備運営方式をDBO方式とすることで決定しました。土壌汚染対策設計については、土壌汚染対策工事を含めた旧クリーンセンター解体工事の公告を令和7年1月31日に実施し、3月17日に不調が確定したため、再公告に向けて参加要件の見直しを実施中です。

なお、令和6年度事業に充当する循環型社会形成推進交付金は、令和5年度収入済額にて差額9,713千円が発生しているため、その差額を年度間調整することで、環境省及び千葉県循環型社会推進課と調整済みです。